

仁淀川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～仁淀ブルーが育む地域の暮らしと産業を守る流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『清流仁淀ブルーを活かした、水辺の賑わいの創出』

○仁淀川は、愛媛県久万高原町の石鎚山を源とする幹川流路延長124km、流域面積1,560km²の一級河川である。上中流域は、石鎚国定公園、四国カルスト県立自然公園等に指定され、面河渓谷等の景勝地も存在するなど豊かな自然環境・景観に恵まれている。下流域は、平地が形成され、土佐市・いの町等の主要な市街地が位置し、JR、高知自動車道、国道等の交通の要衝になっている。

○仁淀川は、平成30年～令和2年の3年連続で「水質が最も良好な河川」に選ばれ、その美しさから清流仁淀ブルーと呼ばれており、夏期には県内外からたくさんの利用客が訪れている。さらなる水辺の賑わい創出のため、概ね令和8年度までに波川地区のかわまちづくりを推進するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

位置図



仁淀川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～仁淀ブルーが育む地域の暮らしと産業を守る流域治水対策の推進～

- 仁淀川では支川が先行して氾濫する流域の特徴を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短 期】加田地区及び谷地区の堤防整備、日下川新規放水路の整備、河道掘削を実施するとともに、建築構造規制、雨水の「貯留」「浸透」、洪水による氾濫水の「貯留」を阻害する行為に対する助言・勧告を実施。
- 【中 期】河道掘削を実施するとともに、雨水貯留浸透施設の整備を実施。
- 【中長期】河道掘削を実施するとともに、家屋倒壊等氾濫想定区域に位置する居住誘導区域の段階的解除、安全なまちづくり（病院や福祉施設における避難行動要支援者の居室の浸水深以上への移設、屋内安全確保（垂直避難）を可能にする建物の複数階化 等）を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、放水路整備（日下川新規放水路）、河道拡幅、海岸保全施設の整備	高知河川国道事務所、高知県	放水路	堤防整備	
			河道掘削、河道拡幅		
			海岸保全施設の整備		
	利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	高知河川国道事務所、愛媛県、高知県、四国電力(株)	利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築		
	下水道施設の整備【下水】	いの町	下水道施設の整備		
	砂防関係施設の整備	高知県	砂防関係施設の整備		
被害対象を減少させるための対策	多様な主体による森林の整備・保全【林野】	四国森林管理局、森林整備センター、高知県、NGO、林業経営体 等	森林整備、治山、鳥獣害防止対策		
	雨水貯留浸透施設の整備、田んぼダムの整備	土佐市、いの町、日高村 等	雨水貯留浸透施設の整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	建築構造規制【都市】、雨水の「貯留」「浸透」、洪水による氾濫水の「貯留」を阻害する行為に対する助言・勧告【都市】、家屋倒壊等氾濫想定区域に位置する居住誘導区域の段階的解除【都市】、安全なまちづくり【都市】	土佐市、いの町、日高村 等	日高村水害に強いまちづくり条例策定 いの町枝川地区浸水危険区域における建築床高指導条例策定	立地適正化計画の策定・見直し（土佐市、いの町）	
			病院や福祉施設における避難行動要支援者の居室の浸水深以上への移設 屋内安全確保（垂直避難）を可能にする建物の複数階化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水想定区域図の作成	高知県	浸水想定区域図の作成		
	防災教育、防災講演会、防災訓練等による意識啓発、実績浸水深の表示、避難確保計画の作成、浸水想定区域図の作成	高知地方気象台、高知市、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村 等	防災教育、防災講演会、防災訓練 実績（想定）浸水深の表示 避難確保計画の作成		
グリーンインフラの取組	江尻地区かわまちづくり	高知河川国道事務所、日高村	江尻地区かわまちづくり		
	波川地区かわまちづくり	高知河川国道事務所、いの町	波川地区かわまちづくり		
	多自然川づくり	高知河川国道事務所	多自然川づくり		
	小中学校における環境学習	高知河川国道事務所	小中学校における河川環境学習		

■事業規模

河川対策（約585億円）
下水道対策（約2億円）
海岸対策（約290億円）

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

仁淀川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～仁淀ブルーが育む地域の暮らしと産業を守る流域治水対策の推進～

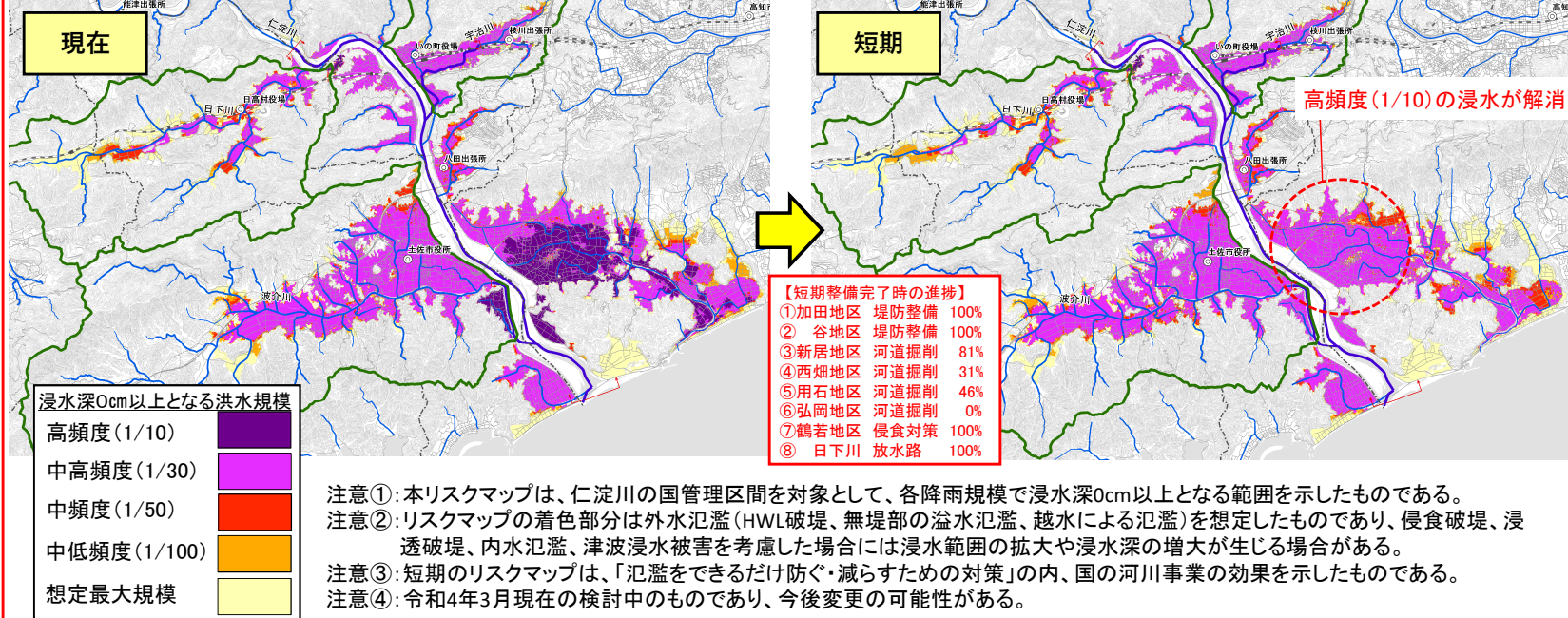
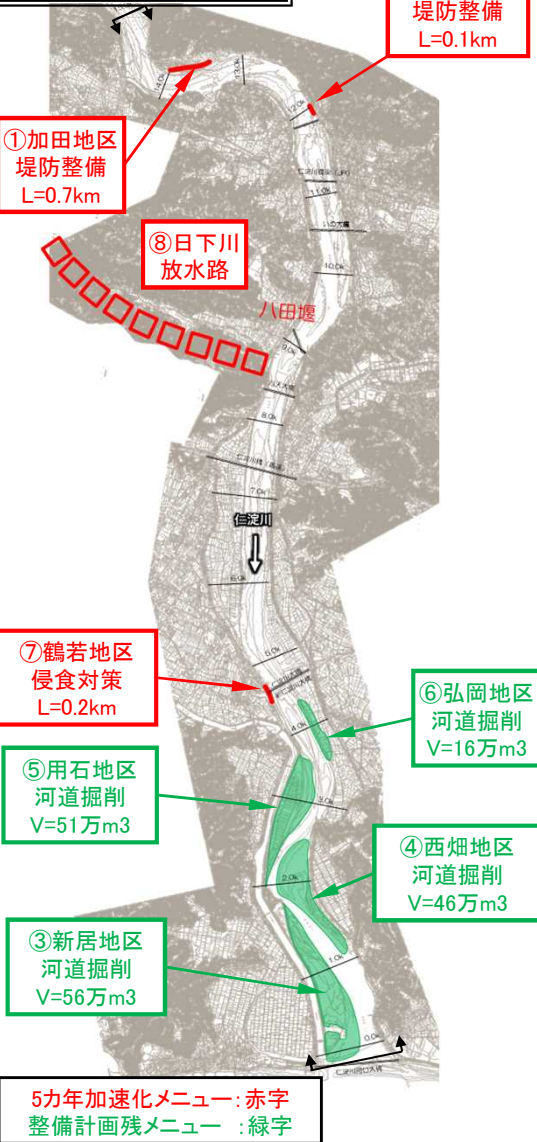
短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率※1 約57%→約61%

※1 河川整備率とは、河川整備計画において定めた河道整備流量を流すことができる国管理区間の割合。

○仁淀川においては八田堰下流区間（西畑地区・用石地区）の河道掘削事業がR7に一部完了、八田堰上流区間（加田地区・谷地区）の堤防整備事業がR7までの完了に伴い、戦後第3位の平成17年9月台風14号規模洪水でも同地区でHWL以下で流下させることが可能。

○また、日下川新規放水路の整備がR4完了に伴い、日下川において平成26年8月台風12号規模洪水による床上浸水被害を解消することが可能。

実施箇所・対策内容



区分	対策内容	区間	工程		
			R3 【5か年加速化対策】 短期(R3～R7) 1/11 → 1/15	中期(R8～R12) 1/15	長期(R13～R24) 1/15 → 1/30
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	堤防整備 9% → 100%	①加田地区			
		②谷地区			
	河道掘削 13% → 100%	③新居地区	13% → 81%	100%	
		④西畑地区	0% → 31%	100%	
		⑤用石地区	25% → 46%	100%	
		⑥弘岡地区			0% → 100%
	侵食対策 0% → 100%	⑦鶴若地区			
	放水路 83% → 100%	⑧日下川			
	除塵機 0% → 100%				

注意①：スケジュールは現在実施している「5か年加速化対策」の予算が今後も同様に継続された場合を想定している。

注意②：今後の予算・事業進捗状況によって当表の内容は変更となる場合がある。

注意②：気候変動を踏まえた更なる対策を推進していくことも検討中である。

仁淀川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～仁淀ブルーが育む地域の暮らしと産業を守る流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：61%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



0市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 8箇所
（令和4年度実施分）

砂防関連施設の
整備数 2施設
（令和4年度完成分）
※施工中 5施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



1市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 5河川

（令和4年9月末時点）

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 0団体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



洪水 938施設
避難確保
計画 土砂 288施設
（令和4年9月末時点）

個別避難計画 7市町村

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

日下川新規放水路の建設



香口導水路施工状況



吐口側作業坑施工状況

河道掘削の実施



対策前(R1.7撮影)



河道掘削状況(R4.9撮影)

用石地区掘削実施状況

流域治水の推進に関する協定の締結（土佐市）

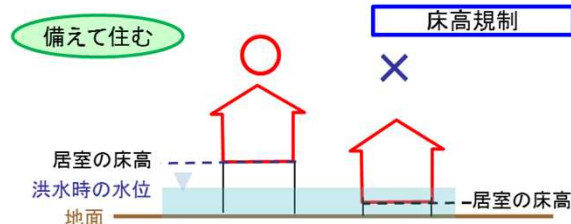
治水安全度の向上に向け製紙業者10社で構成する組合と協定を締結。河川、水路施設等の浚渫や清掃、草刈り等を市と協力して実施。



被害対象を減少させるための対策

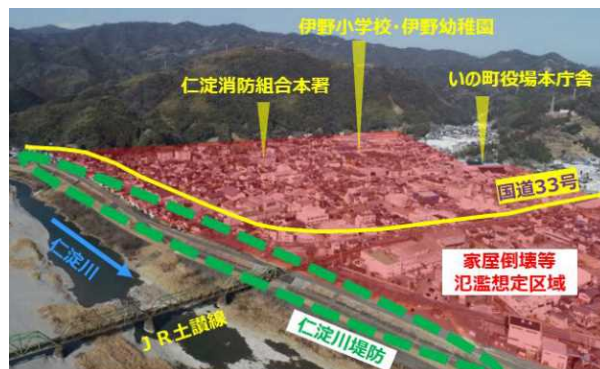
「日高村水害に強いまちづくり条例」の施行（日高村）

平成26年洪水と同規模降雨を対象降雨とした、居室床高の規制（許可制）、雨水の貯留・浸透機能の保全及び洪水の遊水機能の保全（届出義務）を盛り込んだ条例を施行。



利便性と安全性を両立したまちづくり（いの町）

利便性と安全性を両立させるため、家屋倒壊等氾濫想定区域内のリスクを踏まえた居住誘導区域の設定



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

いの町及び自主防災会連合会の取組

- ・想定浸水深表示板を公共施設5箇所に設置
- ・自主防災会連合会と町の共催で流域治水研修会を開催
- ・民間施設と緊急避難場所の利用協定を締結



想定浸水深表示板を設置



流域治水研修会を開催

「洪水の危険度に関する長時間先の見通し」の情報共有（令和3年度出水期より開始）

	氾濫危険水位（無堤）7.90mを超過したのは		（参考） 最高水位
	流域平均雨量（12時間 累積）が次に達した後	大渡ダム放流量が 次に達した後3時間後	
H16.10	274mm	2,511m ³ /s	8.38m
H17.9	284mm	2,640m ³ /s	9.21m
H19.7	247mm	2,461m ³ /s	8.36m
H26.8	261mm	2,575m ³ /s	8.31m

- 概ね250mmを目安に沿川自治体・高知地方気象台・高知河川国道事務所、大渡ダム管理所とWeb会議を開催し、事務所から情報提供
- 半日以上前からの「洪水の危険度」を共有することで、流域自治体の体制確保や住民への早期の情報提供が可能